

# J A 静岡市 令和7年度上半期 経営状況のご案内

## 1 J Aの地域貢献

J A 静岡市は静岡市葵区・駿河区を事業区域として農業者を中心に地域の皆さまが組合員となり、共に助け合い・発展していくことを共通の理念として運営される協同組織です。また、農業・地域の活性化に資する地域金融機関としての立場も担っております。

皆さまからお預かりした貯金等は、資金を必要とする組合員や地域の皆さまにご融資し、農業、事業や暮らしのお手伝いをさせていただいております。

「J A 静岡市は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則に基づき行動すると共に、農業と地域社会に根ざした組織として社会的役割を誠実に果すことを使命とします」を経営方針として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向け、金融事業の他に総合的な事業活動をしています。また、農業や助け合い活動を通じて、次のように地域社会・文化への貢献に努めています。

- ① 農業体験（准組合員や地域の皆様を対象とした野菜作り講習会等）
- ② 1 支店 1 協同活動（店舗周辺や農道の清掃活動等）
- ③ 交通安全運動（カーブミラーの寄贈や街頭での声掛け活動）

## 2 農協法及び金融再生法に基づく開示債権（単体）

当 J A の金融再生法の開示区分に基づく債権額は次のとおりです。

今後も厳格な自己査定を実施し、資産の健全化に努めていきます。

（単位：百万円）

債 権 区 分	令和 7 年 3 月 末	令和 7 年 9 月 末	増 減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	49	75	26
危 険 債 権	85	76	▲8
要 管 理 債 権	-	-	-
三月以上延滞債権	-	-	-
貸出条件緩和債権	-	-	-
小 計	134	152	17
正 常 債 権	138,888	141,100	2,212
合 計	139,023	141,253	2,229

注：1. 令和 7 年 9 月末の計数は、令和 7 年 8 月末を基準日として行った自己査定結果（債務者区分及び債権額）を基準としています。

2. 各債権の定義は次のとおりです。

① 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。

② 危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。

③ 要管理債権

④. 「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と⑤. 「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額をいいます。

④ 三月以上延滞債権

元金又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権及び危険債権に該当しないものをいいます。

⑤ 貸出条件緩和債権

債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び三月以上延滞債権に該当しないものをいいます。

⑥ 正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

### 3 単体自己資本比率

当 J A の自己資本比率は令和 7 年 9 月末 14.35% 程度と国内基準 4% を大幅に上回る水準を維持しています。

令和 7 年 3 月末	令和 7 年 9 月末(見込み)
12.65%	14.35% 程度

注：1. 自己資本比率とは、貸出金等の総資産に占める自己資本の割合を示すもので、経営の安全性、健全性等を表す代表的な指標です。国内のみで営業を行う金融機関には 4% 以上が求められています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額(コア資本に係る基礎項目の額－コア資本に係る調整項目の額)}}{\text{信用リスク・アセットの額の合計額} + \text{マーケット・リスク相当額の合計額を 8\% で除して得た額} + \text{オペレーショナル・リスク相当額の合計額を 8\% で除して得た額}}$$

2. 令和 7 年 9 月末の自己資本比率の算出にあたり、仮決算時の当期剰余金は法人税等見込み額控除前の数値を使用しています。信用リスク・アセットの一部は、令和 7 年 8 月末を基準日として行った資産自己査定結果に基づいて計算しています。また、オペレーショナル・リスク相当額の合計額を 8% で除して得た額は、直近決算における数値を使用しています。なお、マーケット・リスク相当額の合計額を 8% で除して得た額は、不算入としています。

### 4 主要勘定の状況

(単位：百万円)

	令和 6 年 9 月末	令和 7 年 3 月末	令和 7 年 9 月末
貯 金	394,010	396,894	391,614
貸 出 金	136,994	139,023	141,253
預 金	215,910	213,865	206,517
有 価 証 券	44,760	43,693	47,529

注：1. 令和 6 年 9 月末及び令和 7 年 9 月末の残高は帳簿価額を、令和 7 年 3 月末の残高は貸借対照表計上額を表示しています。

2. 貯金残高は、譲渡性貯金を含みます。

### 5 有価証券等の時価情報

(単位：百万円)

	令和 7 年 3 月末			令和 7 年 9 月末		
	帳簿価額	時 価	含み損益	帳簿価額	時 価	含み損益
満期保有目的の債券	2,400	2,283	▲116	3,000	2,856	▲143

(単位：百万円)

	令和 7 年 3 月末			令和 7 年 9 月末		
	取得原価	時 価	評価差額	取得原価	時 価	評価差額
その他有価証券	44,760	41,417	▲3,342	44,535	41,203	▲3,332
債 券	39,165	34,747	▲4,417	40,147	35,311	▲4,835
そ の 他	5,595	6,669	1,074	4,387	5,891	1,503

注：1. 満期保有目的の債券、その他有価証券で時価のあるものを表示しています。

2. その他有価証券には外部出資を含めて表示しています。

3. 令和 7 年 3 月末及び令和 7 年 9 月末の含み損益・評価差額は、各時点の帳簿価額・取得原価と時価との差額を表示しております。

4. 子会社株式で時価のあるものはありません。

(注) 本資料中に表示している数値は単位未満を切り捨てています。